

外出先の地震対応

お店や公共施設にいたら

- ・衣類や持ち物などで頭を覆い、転落・落下物から身を守りましょう。
- ・出入口に殺到せず、場内放送や係員の指示に従いましょう。
- ・エレベータは停電により停止する恐れがあるので絶対に使用しないでください。

エレベータに乗っていたら

- ・各階の停止ボタンを全部押し、停止した階で降りましょう。
- ・閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターフォンで外部に連絡して救出を待ちましょう。

路上にいたら

- ・ブロック塀などの倒壊や、看板などの落下物に注意し、衣類や持ち物で頭を保護しましょう。

車の運転中だったら

- ・急ブレーキは避け、ゆっくりと減速しながら交差点を避けて左側に寄せて停止させます。
- ・車を離れるときは、窓を閉め、ドアロックをせずに鍵を付けたままにして、車検証など貴重品を持って車を離れましょう。

海岸付近にいたら

- ・すぐに高台に避難します。津波情報を聞き、注意報・警報が解除されるまでは絶対に海岸には近付かないでください。

緊急地震速報

～ 全国瞬時警報システム（Jアラート） ～

緊急地震速報とは

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。

どうやって聞くことができるの

市告知放送端末や携帯電話、テレビ、ラジオを通じて自動で音声流れます。

緊急地震速報を見聞きしたら

- ・まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全確保をしてください。
- ・緊急地震速報を見聞きした場合、揺れがなくても1分程度は強い揺れに備えて身を守ってください。
- ・緊急地震速報が発表されなくても、地震の揺れを感じたときは身を守ってください。
- ・地震の震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。

とっさの時に備えるための訓練は

緊急地震速報を見聞きした時や地震の揺れを感じた時にとっさに身の安全を確保する「安全確保行動1-2-3」ととれるようにすることが有効です。これは、「シェイクアウト訓練」と言い非常に重要な訓練です。

